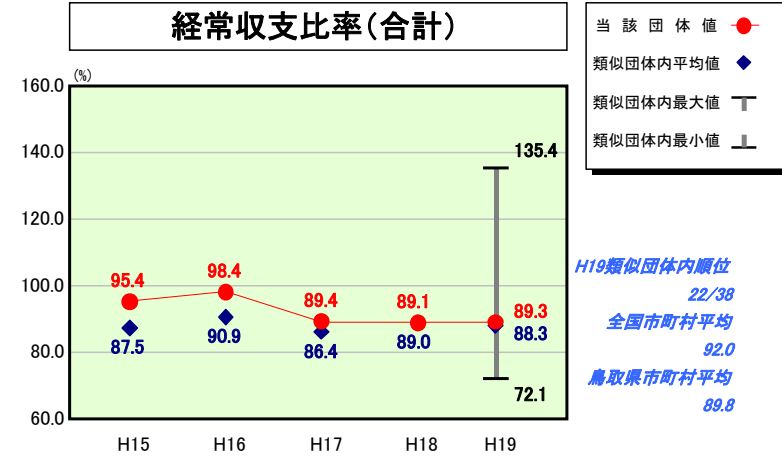


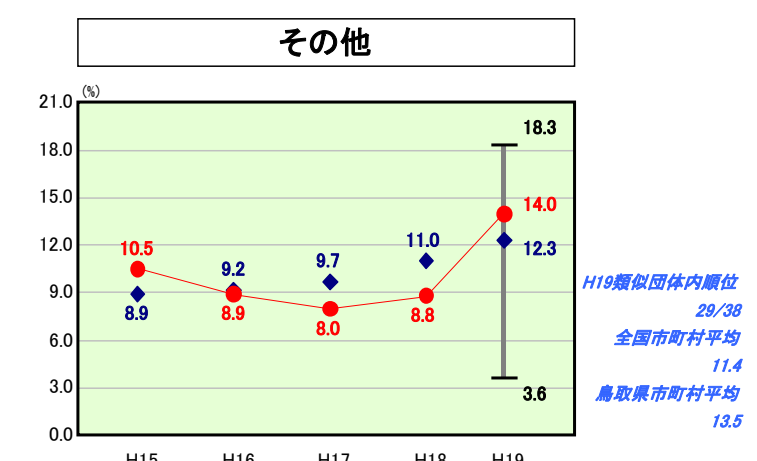
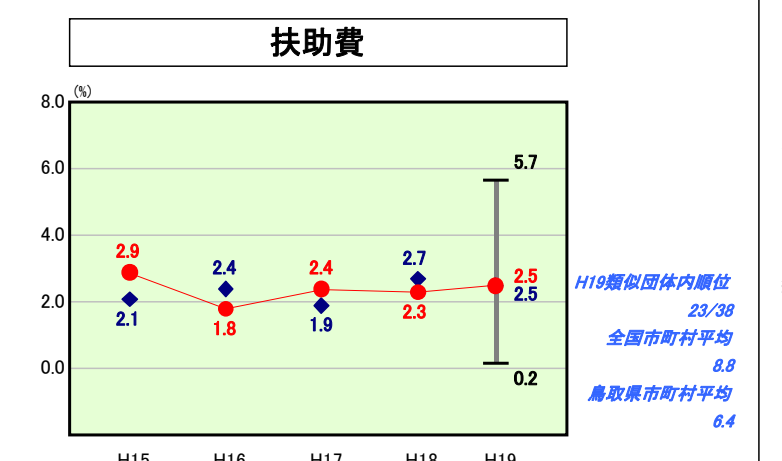
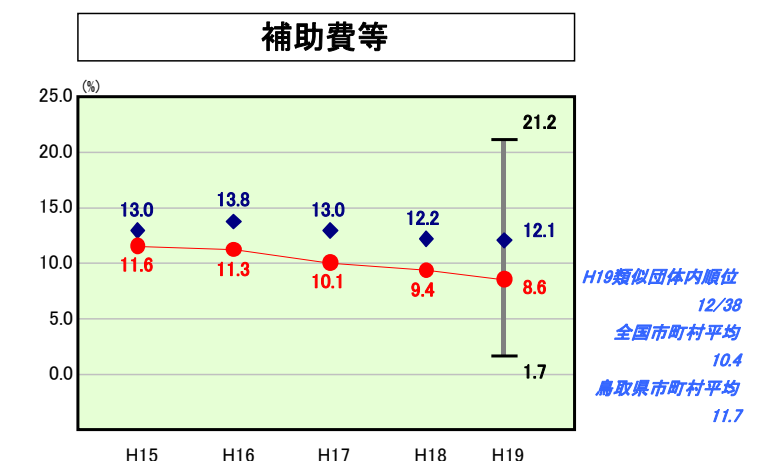
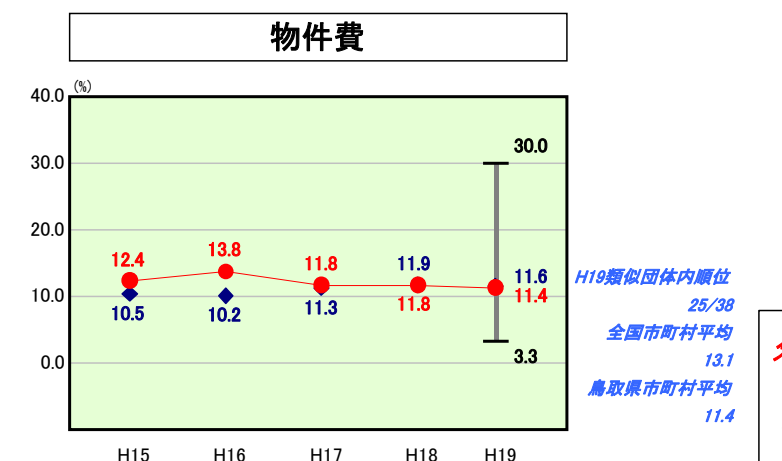
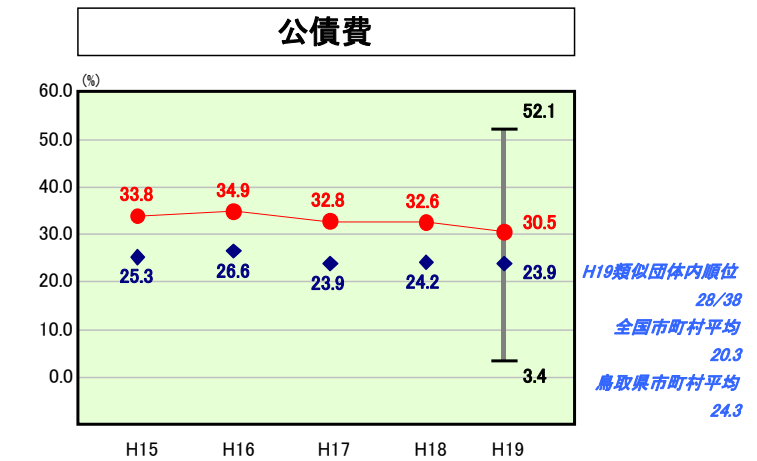
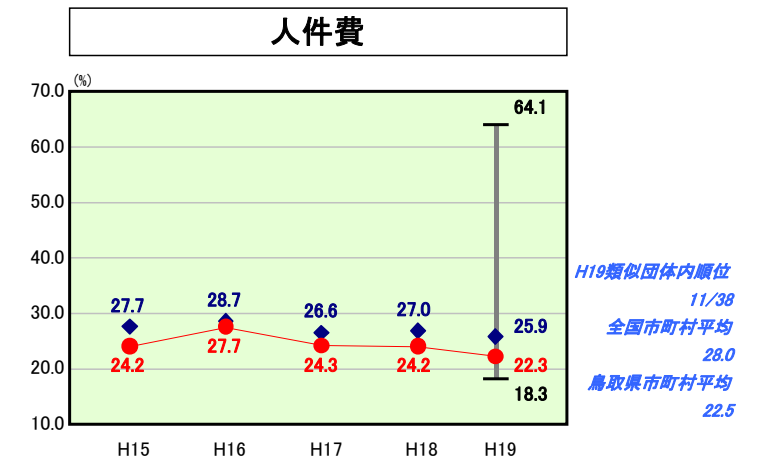
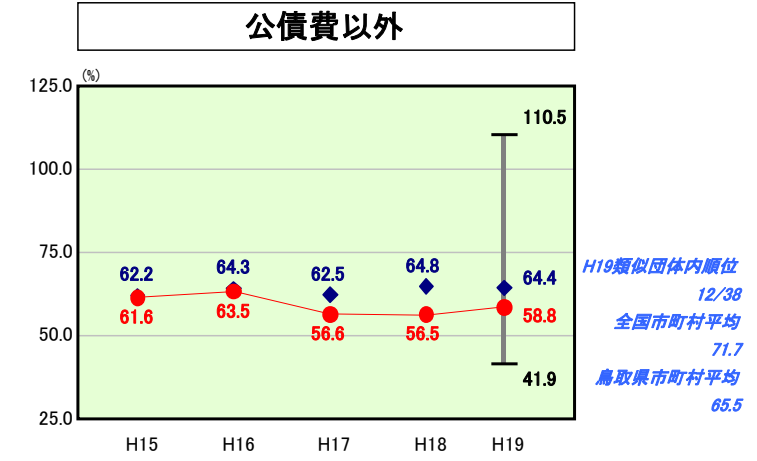
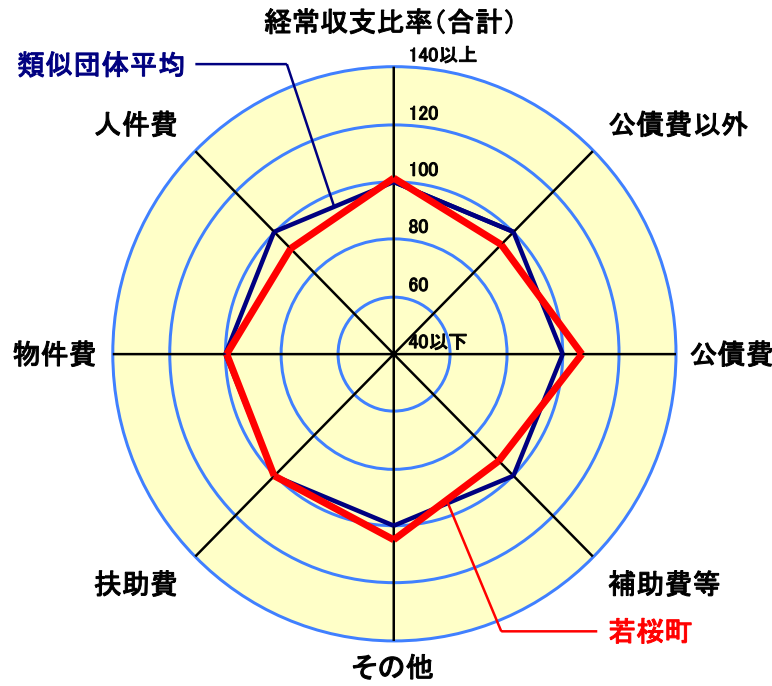
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鳥取県 若桜町

経常収支比率の分析



人口	4,344人(H20.3.31現在)
面積	199.31 km ²
歳入総額	3,136,423千円
歳出総額	2,966,825千円
実質収支	157,890千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 人件費
職員給与削減(5%)、特別職・議員報酬削減(15~20%)の実施と職員数の抑制により、類似団体平均を下回っている。今後もこの水準を上回らないよう給与の適正化に努める。
- 物件費
歳出削減によりほぼ類似団体平均となった。物件費の内訳の主なものとしては委託料が50%、需用費が23%、賃金が12%となっている。さらなる事務事業の見直しにより削減に努める。
- 扶助費
前年度比較で児童福祉費が1.3百万円減少、老人福祉費が1.3百万円減少、衛生費が3.2百万円増加し、全体で0.3%増加した。数値は類似団体平均となっており、引き続き抑制に努める。
- 公債費
前年度比較で7%減少したが、類似団体平均を大きく上回っている。地方債残高は平成16年度を最高に減少へ転じており、4年以内に類似団体平均まで下げる。
- 補助費等
一部事務組合に対するものや農林水産業費の補助交付金が減少し、全体で4%減となった。類似団体平均より下回っており、引き続き抑制に努める。
- その他(繰出金、積立金など)
財政調整基金に115.5百万円の積立、また特別会計への繰出金の増により前年度より大きく増加した。繰出金増加の主な要因としては下水道事業にかかる公債費財源に対する繰出しとなっている。今後も公営企業会計への繰出基準の徹底を図り、引き続き抑制に努める。